

整理番号	28-10	事務事業名	私道除雪補助事業		作成部署	建設部土木事務所	電話	内線760
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	斉藤順二	課長職名	高橋孝一	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S37	根拠法令等	北広島市私道除雪補助金交付要綱					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	市民生活の活動維持のため、冬期間の交通確保を図ることを目的とする。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	道路と交通の確保	(第3節)
	施策	私道の冬期間交通の確保	(第5施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	除雪業者等との契約により、市内において私道の除雪を実施する町内会、除雪組合等の団体	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	公共性の高い私道の冬期間の交通確保	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	私道の除雪を実施する団体が、除雪に要する費用の2/3以内の額の補助を受け事業を実施。 平成13年度 私道の除雪を実施する38団体への補助金交付 平成14年度 私道の除雪を実施する31団体への補助金交付 平成15年度 私道の除雪を実施する31団体への補助金交付 平成16年度 私道の除雪を実施する29団体への補助金交付
		17年度	私道の除雪を実施する29団体が、除雪に要する費用の2/3以内の額の補助を受け事業を実施。

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	2,294	2,241	2,300	2,400
合計	2,294	2,241	2,300	2,400	
人件費(概算)	人数(年間)	0.08	0.08	0.08	0.08
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	720	720	720	720
総事業費 +		3,014	2,961	3,020	3,120

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	私道補助対象延長	8.1km	7.9km	7.9km	7.9km
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	対象となる私道の総整備料量の把握が困難であるため、整備率の成果指標が算出できない。				
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1事業当り評価コスト	372千円/km	375千円/km	382千円/km	395千円/km
	(総事業費 ÷ 除雪延長)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	私道の除雪は、冬期間の市民生活の活動維持のため、29団体が実施している状況である。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市民生活維持のため、必要な事業である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	冬期間の交通確保という目的は、適切である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	補助金による現行制度は、適切である	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	私道等の管理のひとつであることから、受益者負担は妥当である。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	冬期間の交通が、確保される。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	補助申請段階で、事業内容及びコストを審査しているため、効率的になっている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	私道の除雪については、冬期間の生活維持のため重要であり、現行制度を継続する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	一般交通の利用に供されている私道の除雪については、冬期間の生活維持のため重要であり、現行制度を継続する。